

平成25年度

(第1/3回)

(地域別研修)

アフリカ地域

小規模農民のための複合農業

実施要領

平成25年10月

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

Japan International Cooperation Agency

目 次

1. 案件基本情報	1
2. 案件の背景・目的	1
3. 案件目標	2
4. 単元目標	2
5. 研修成果品	2
6. 研修員参加資格要件	3
7. 研修実施体制	4
8. 研修の評価	4
9. 研修付帯プログラム	5
10. 主な宿泊場所	5
11. その他	6

参考資料

- 付表－1 研修員関連情報
- 付表－2 カリキュラム（案）
- 付表－3 研修日程（案）
- 付表－4 年度別受入実績表

1. 案件基本情報

(1) 案件名

和文：(地域別研修) アフリカ地域 小規模農民のための複合農業

英文：Region Focused Training Program on
“Mixed Farming for Small Scale Farmers in Africa”

(2) 受入期間

平成 25 年 10 月 8 日 (火) ~ 11 月 30 日 (土)

(3) 技術研修期間

平成 25 年 10 月 15 日 (火) ~ 11 月 29 日 (金)

(4) 受入人数、割当国

受入人数：13 名

割 当 国：ザンビア、ケニア、ナミビア、タンザニア、ジンバブエ、チャド、マラウ
イ、モザンビーク (下線は受入国)

(5) 類型：人材育成普及

(6) 使用言語：英語

2. 案件の背景・目的

天水に頼った小規模農業を行っている農民が多いアフリカの国々においては、干ばつにより、とうもろこしなどの穀物の生産量が極端に低下し食糧の確保が難しくなることがある。また、たばこなどの輸出に頼る作物は、国際価格の変動に農民の所得が大きく左右される不安定な状況をつくっている。単一作物あるいは単一家畜による経営は、作業効率は良いものの経営体力のない小規模農家にとっては大きなリスクがある。また、必要以上に化学肥料に頼っている農地では地力の低下もみられる。こうした危険性を回避するために、主食である穀類や輸出換金作物に加えて、野菜や果樹の生産、家畜や鶏の飼育、養殖などに挑戦する小規模農家は多い。しかし、知識と技術の不足から必ずしも十分な生産を上げられていない。政府のサービスも主食である穀物や輸出換金作物に集中する傾向があり、個々の小規模農家のリスク分散に対応できていない。普及員の多くは特定の専門に特化しており、農家が期待する広く浅い複合農業に対応できるような者は少ない。

本案件では、限られた研修の期間で、穀物、野菜、果樹、家畜、養殖といった広い分野の知識や技術を十分に習得することは難しいが、営農指導に係る政府職員や地域のリーダーであるような農民を対象に、農民の自らの意志でそれぞれの地域に合った作物や家畜などを組み合わせた複合農業に挑戦できるような提案をしたり、実施したりできるような概念と基本的な技術をもった人材を育成することが目的である。こうした人材の育成はアフリカ地域の小規模農家にとって極めて重要である。

3. 案件目標

小規模複合農業の実践に必要な知識を習得し、これを活かして対象地域の状況にあった複合農業の実施方法や普及計画（案）を提案する。

※上位目標：地方政府レベルによる農業農村開発プログラムにおいて、複合農業というコンセプトを生かした施策により、小規模農民の生計が改善される。

4. 単元目標

- (1) 複合農業を構成する農作物栽培や家畜飼育に係る基礎的な技術を理解する。
- (2) 複合農業の長所と短所を理解し、農業経営として複合農業を実施する際に考慮すべき事項について理解する。
- (3) 市場への参画を考慮した複合農業の実施方法、またはその普及活動計画（案）を策定できる。

5. 研修成果品

ア) 本邦研修実施前

「初期報告書（Inception Report）」の作成

研修の主題にかかる研修員および所属組織の課題や、それに対する現在の組織としての対策・枠組みをまとめ、本邦でのコース開始時に発表する。

イ) 本邦研修終了時

「中間報告書 (Interim Report)」の作成

研修で学んだ知識や技術等を基に行動計画(案)を作成し、コース終盤に発表する。

ウ) 帰国後の事後活動

「最終報告書 (Final Report)」の作成

研修員は帰国後3か月以内に、中間報告書に書かれた行動計画(案)を所属組織に報告し、所属組織からのコメントをJICA北海道(帯広)に報告する。JICA北海道(帯広)は同報告書を関係者と共有のうえ、次年度以降に実施される研修に内容をフィードバックし、必要に応じフォローアップを検討する。

6. 研修員参加資格要件

(募集要項記載条件)

ア. 農業省等で営農指導や営農計画などの政策に携わる若手職員

イ. 農業あるいは畜産の若手普及員

ウ. 若手のリードファーマー

(各案件共通資格要件)

エ. 所定の手続きにより割当国政府から推薦されること。

オ. 大学卒業あるいは同等の学力を有すること。

カ. TOEFL CBT 200点、PBT 533点、iBT 72点以上に相当する英語能力を有すること。

キ. 心身ともに健康なこと。

ク. 軍に属していないこと。

7. 研修実施体制

本案件は、コースリーダーの助言のもと、独立行政法人国際協力機構帯広国際センター（JICA 帯広）が研修コースを計画し、関係諸機関の協力により実施・運営する。技術研修期間中は、JICA 登録の研修監理員を配置する。具体的業務は次のとおり。

- ア. 実施計画書作成（案件目標、研修期間等）
- イ. 日程表の調整・作成
- ウ. 講師、視察先等への連絡・確認
- エ. テキスト、資料等の手配
- オ. 実施予算の執行管理
- カ. 通訳・翻訳（研修監理員による対応）
- キ. 評価 等

8. 研修の評価

(1) 評価の目的

案件目標に基づき、研修成果の測定・分析を通じてコース終了時に単元目標の達成度を確認する。また、今後の研修で改善すべき点をあげ、本案件の質的改善を図る。

(2) 評価の方法

- ア. コースリーダー等による単元目標の達成度把握
- イ. 研修員が提出する質問票による評価
- ウ. JICA による評価

(3) 評価会

研修終了時に質問票の記載事項の確認を中心とした評価会を実施する。

(4) 反省会

研修員の帰国後に、評価結果に基づき JICA 北海道（帯広）、コースリーダー、講師等が参加し、研修の目標・内容、プログラム構成、指導方法等について協議し、翌年度以降の改善に向けて対応方針を検討する。

9. 研修付帯プログラム

(1) ブリーフィング

来日直後に北海道国際センター（帯広）（以下 OBIC: Hokkaido International Center (Obihiro)）で実施する。JICA 業務およびコース概要説明、研修員登録、旅券・査証の有効期間の確認、支給される諸手当の説明等のほか、日常生活を送る上での諸注意を行う。

(2) ジェネラルオリエンテーション

OBIC で実施し、日本の社会と日本人、歴史・文化、政治・行政、経済、教育などを紹介する。

(3) 日本語講習

研修員の日常生活および国際交流のため、簡単な日常会話程度の語学力修得を目的として7時間の日本語講習を実施する。

付帯プログラム日程（予定）

日 程	内 容
10月2日（水）	ブリーフィング
3日（木）	ジェネラルオリエンテーション 日本語講習（夜間）
4日（金）	日本語講習（夜間）

10. 主な宿泊場所

北海道国際センター（帯広）（OBIC）

所在地：〒080-2470 帯広市西20条南6丁目1-2

Tel (0155) 35-2001 Fax (0155) 35-2213

11. その他

(1) 修了証書

研修を修了した研修員に JICA から修了証書を授与する。

(2) 研修員の待遇

ア. 入国資格

技術研修を受けるために来日する者は研修査証を取得し、滞在中は日本国法規の適用を受ける。

イ. 滞在費

JICA 規程に基づき研修を受けるために必要な手当が支給される。

以上

研修日程表(案)

月日	曜日	時間	形態	プログラム	単元	講師(敬称略)	所属	研修場所
10月8日	火			来日				
		16:30-18:00		フライトミーティング		KSA		JICA帯広北海道(帯広) オリエンテーションルーム
10月9日	水	10:00-12:00 13:00-13:50		集合ブリーフィング		JICA		JICA北海道(帯広)
		14:00-16:00		オリエンテーション「日本の政治・行政機構」				
10月10日	木	9:30-11:30		オリエンテーション「日本の経済」				
		13:00-13:50		ブリーフィング		JICA		
		14:00-16:00		オリエンテーション「日本の教育」				JICA北海道(帯広)
		16:30-17:30		ベトナムビザ申請及び日本再入国に係る申請書作成		佐藤 さおり	JICA北海道(帯広)	
		18:00-19:30		日本語研修				
10月11日	金			日本再入国手続き(札幌)				札幌入国管理局
		18:00-19:30		日本語研修				JICA北海道(帯広)
10月12日	土			バスツアー(オプション) 然別湖&鹿追そば祭り			JICA福利厚生	
10月13日	日			休日				
10月14日	月			休日				
10月15日	火	9:30-10:45		コースオリエンテーション		耕野 拓一	帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) ブリーフィングルーム
		11:00-12:00	発表	インセプションレポート発表会		JICA / 耕野 拓一 / 小崎 浩	JICA/ 帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) 会議室
		13:00-16:00	発表					
10月16日	水	9:30-12:00	講義	日本・北海道の農業概論及び農業組織		河野 洋一	帯広畜産大学	帯広畜産大学 I号館E2502
		13:30-16:00	講義 視察	十勝の農業/農機具の歴史		米倉 進	帯広市農業振興公社	帯広市農業技術センター/ 農機具歴史館
10月17日	木	9:00-12:00	講義 実習	野菜作りの基礎①土づくり、堆肥、輪作、小型農機具について	1	中村 嘉秀	帯広市農業振興公社	帯広市農業技術センター
		13:00-15:30	実習	野菜作りの基礎②堆肥作り(雑草を利用した堆肥作り)	1	メイン)中村 嘉秀 サブ) 淵上 正春 中井 敬二		
10月18日	金	9:00-12:00	講義 実習	野菜作りの基礎③播種の方法	1	メイン)中村 嘉秀 サブ) 淵上 正春 中井 敬二	帯広市農業振興公社	帯広市農業技術センター
		13:30-16:30	視察	農家視察～有機農法による野菜作り・加工・販売～	2	藪田 秀行 小畑 拓	やぶ田ファーム 小畑農園	帯広市愛国:やぶ田ファーム 小畑農園
10月19日	土			休日				
10月20日	日			休日				
10月21日	月	9:30-12:00	講義	PDマニュアル①導入	1	木下 秀俊	JICA北海道(帯広)	JICA北海道(帯広) セミナールーム4/PCルーム1
		13:30-16:00	講義 実習					
10月22日	火	9:30-12:00	講義	家畜管理①	1	手塚 雅文	帯広畜産大学	帯広畜産大学 I号館E2502
		13:00-15:30	講義	家畜飼料①	1	西田 武弘	帯広畜産大学	帯広畜産大学 I号館E2502
10月23日	水	9:30-12:00	講義	家畜飼料②	1	西田 武弘	帯広畜産大学	帯広畜産大学 I号館E2502
		13:30-15:30	視察	酪農家視察	2	藤田 均 西田 武弘	カントリーファーマーズ藤田牧場 帯広畜産大学	藤田牧場
10月24日	木	9:30-12:00	講義 実習	家畜飼料 サイレージづくり (PDマニュアル②実習)	1	西田 武弘	帯広畜産大学	帯広畜産大学 I号館E2502
		13:00-15:30	実習					
10月25日	金	9:30-11:30	討論	振り返り/レポート作成指導(ガイダンス)	3	耕野 拓一 / 小崎 浩	帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) セミナールーム4
		13:30-15:30	視察	ヤギの飼養管理と乳製品の加工販売	3	腰山 通彦 / 真理	香林農園	香林農園
10月26日	土			休日				
10月27日	日			休日				
10月28日	月	9:30-12:00	講義	家畜管理②	1	手塚 雅文	帯広畜産大学	帯広畜産大学 I号館E2502
		13:30-15:30	視察	複合農業の事例 ～畑作と酪農～	2	堀川 寛 / 堀川 拓矢		堀川農場(十勝清水)
10月29日	火	9:30-12:00	講義	家畜管理③	1	手塚 雅文	帯広畜産大学	帯広畜産大学 I号館E2502
		13:30-15:30	視察	複合農業と市場参画の事例(肉牛と畑作、カフェ)	3	大野 泰裕	大野ファーム	大野ファーム(芽室)
10月31日	木	9:30-11:30	視察	市場参画の事例(農業者グループによるアイスクリームの製造・販売)	3	安田 博美 / 佐山 親英 長谷川 志保里 / 鍋崎 伊吹	十勝みるたま工房	喫茶ポロンリ(帯広市八千代)
		13:30-16:00		PDマニュアル④作成	1	木下 秀俊	JICA北海道(帯広)	JICA北海道(帯広) セミナールーム4/PCルーム1
10月30日	水	9:30-12:00	実習	PDマニュアル③作成	1	木下 秀俊	JICA北海道(帯広)	JICA北海道(帯広) セミナールーム4/PCルーム1
		13:30-16:00	実習					
11月1日	金	9:30-12:00	講義	1.複合農業の基礎概念 2.マラウイの事例について	2	耕野 拓一	帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) セミナールーム4
		13:30-15:30	視察	市場参画の事例(養豚技術と加工販売)	3	大美浪 源	源ファーム	源ファーム
11月2日	土			休日				
11月3日	日			休日				
11月4日	月			休日				
11月5日	火	9:30-12:00	討論	前週の振り返りとレポートテーマについて	3	耕野 拓一 / 小崎 浩	帯広畜産大学	帯広畜産大学 I号館E2502
		13:30-15:30	視察	市場参画の事例～雑草からチンキを商品化	3	中村 良子	中村農場	中村農場(帯広市以平)
11月6日	水	9:30-12:00	講義	地域複合農業 概論	2	窪田 さと子	帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) セミナールーム4
		13:30-16:00	講義	ベトナム研修概要説明	2	耕野 拓一	帯広畜産大学	

研修日程表(案)

月日	曜日	時間	形態	プログラム	単元	講師(敬称略)	所属	研修場所
11月7日	木	9:30-12:00	講義	十勝農業試験場の概要及び研究内容について	3	高宮 泰宏	十勝農業試験場	十勝農業試験場
		13:00-15:00	講義	北海道の普及事業～農業試験場との連携	3	西海 豊顕	北海道農政部生産振興局技術普及課 十勝農業試験場	
		15:00-16:00	視察	試験場内視察	3	高宮 泰宏	十勝農業試験場	
11月8日	金	9:30-12:00	講義 視察	地域循環複合農業 ～耕畜連携～ 中札内道の駅(直売所)	2	阿部 雅行	中札内村 産業課	中札内農村環境改善センター
		13:30-16:00	講義	農業普及センターの役割	3	富岡 康裕	十勝農業改良普及センター	十勝農業改良普及センター
11月9日	土			帯広 → 成田				
11月10日	日			成田 → ハノイ → フェ				
11月11日	月	10:00-12:00	講義	Course Guide Lecture	2		Hue College of Economics (HCE)	Hue College of Economics
		13:00-16:00	講義	Vietnam Agriculture	2		Hue College of Economics (HCE)	
11月12日	火	8:00-11:00	講義	Mixed small scale farming and VAC system in Vietnam	2		Associated Professor from Hue University of Agriculture and Forestry (HUAF)	Hue College of Economics
		13:00-16:00	講義	Mixed small scale farming and VAC system in Thua Thien Hue Province	2		DARD of Thua Thien Hue province/ Associated Professor from HUAF	
11月13日	水	8:00-11:00	講義	Typical farms of mixed small scale and VAC system in Thua Thien Hue province	2		Associated Professor from HUAF	Hue College of Economics
		13:00-16:00	視察	Field Trip	2		Associated Professor from HUAF/HCE	Phu Loc district, Thua Thien Hue province
11月14日	木	8:00-11:00	視察	Field Trip	2		Associated Professor from HUAF/HCE	Quang Dien district, Thua Thien Hue province
		13:00-16:00	視察	Field Trip	2		Associated Professor from HUAF/HCE	Huong Tra district, Thua Thien Hue province
11月15日	金	8:00-11:00	討論	Discussion	2		Hue College of Economics (HCE)	Hue College of Economics
				フェ→ハノイ→成田				
11月16日	土			成田→羽田→帯広				
11月17日	日							
11月18日	月			レポート作成	3			JICA北海道(帯広) セミナールーム4
				レポート ドラフト提出(アウトライン)(17:00締切)				
11月19日	火	9:30-12:00		ベトナム研修振り返り	2	耕野 拓一		帯広畜産大学 I号館E2502
		13:30-16:00		レポート指導	3	耕野 拓一 / 小崎 浩		帯広畜産大学 I号館E2502
11月20日	水	9:30-15:30	実習	農産物加工(トマトジャム作り)	3	澤田 清美 小崎 浩	澤田ファーム 帯広畜産大学	大平原交流センター
11月21日	木	9:30-12:00	講義	農業におけるJAの役割	3	石山 隆幸	JA帯広かわにし	JICA北海道(帯広) セミナールーム4
		13:30-16:00	講義	羊の飼養管理	1	河野 博英	独立行政法人家畜改良センター 十勝牧場	JICA北海道(帯広) セミナールーム4
				クエスチョネア提出(17:00締切)				
11月22日	金	9:00-12:00	実習	マーケティング入門 ワークショップ「経営教育と経営論」	3	坪井 真一	インサイトマネジメント株式会社	JICA北海道(帯広) セミナールーム4
		13:30-16:30	講義					
11月23日	土							
11月24日	日							
11月25日	月	9:30-12:00	討論	前週の振り返りとレポートテーマについて	3	耕野 拓一 / 小崎 浩	帯広畜産大学	帯広畜産大学 I号館E2502
		13:30-16:00	視察	市場参画の事例 とかちむら/ばんえい競馬	3	城石 直樹	SPCとかちむら株式会社	とかちむら
11月26日	火	9:00-10:30	講義	6次産業化と市場参画	3	耕野 拓一	帯広畜産大学	帯広畜産大学 I号館E2502
		10:45-12:00	実習	家畜飼料③	1	西田 武弘		
		13:00-16:00		レポート指導	3	耕野 拓一 / 小崎 浩		
11月27日	水	9:15-9:45		帯広市 表敬訪問				帯広市役所
		10:30-12:00		フードバレーとかちの取組み	3	吉田 誠	帯広市 産業連携室	JICA北海道(帯広) オリエンテーションルーム
		13:30-16:00		PDマニュアル⑤ 製本	1	木下 秀俊	JICA北海道(帯広)	JICA北海道(帯広) オリエンテーションルーム/PC ルーム1
11月28日	木	9:30-12:00		インテリムレポート発表会	3	JICA/ 耕野 拓一 / 小崎 浩	JICA / 帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) セミナールーム4
		13:30-16:00						JICA北海道(帯広) 会議室
		16:00-17:30						
11月29日	金	9:00-10:00		評価会		JICA / 耕野 拓一 / 小崎 浩	JICA/ 帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) セミナールーム4
		PM		帰国準備				
11月30日	土			帰国				

年度別受入実績表

1. 応募／選定（受入）人数

	平成25年度	累計
応募数	18名	18名
受入数	13名	13名

2. 国別受入人数

○男性 ●女性

国名	平成25年度	累計
チャド	●	1名
ケニア	●●	2名
マラウイ	●	1名
モザンビーク	○	1名
ナミビア	○●	2名
タンザニア	○○	2名
ザンビア	○○○	3名
ジンバブエ	○	1名
合計	8カ国 13名	8カ国 13名